

## 栄友会（医学部栄養学科・医科栄養学科同窓会）

会長 津田 とみ つだ とみ

今期、2019 年度後半の活動状況ですが、まずは全学を挙げた創立 70 周年記念行事で栄友会は、ホームカミングデーでの栄友会特別講演会（スライド 1）、栄養展（蔵本祭合同企画）、研究室見学ツアーという内容で記念行事に参加しました。

特別講演会（講師：中村丁次 神奈川県立保健福祉大学学長/日本栄養士会会長（5 期））は遠くからの卒業生や多数の蔵本キャンパスの若い会員が参集し、中村先生の熱い思いの講演を聴くことが出来ました。その日の栄養学科棟の玄関前での記念写真ですが（写真 1）、中央に見えるのが栄養学科創設の父とも言える、児玉桂三 元学長（第 2 代）の残された言葉「食律生命」が刻まれた銘文プレートです。また前夜の中村先生を囲む食事会では、食べ、飲み、未来や思い出を語り合う楽しい時間を持つことが出来ました。



翌 11 月 3 日、大学創立 70 周年記念式典と祝賀会が催され（於ホテルクレメント）、そのアトラクションで登場した私たちの栄養学連の阿波踊りが一段とお祝いの熱気を盛り上げ、ご出席の皆様から大きな拍手をいただき学生たちにも励みになったと嬉しく思いました（写真 2）。

3 月の卒業式や謝恩会は中止となりましたが、卒業生の約半数が大学院へ進学、約半数は社会人の第一歩を踏み出しました。大学院進学率が高いことが栄友会の大きな特色であり、その結果 370 名を超える博士が巣立ち、Principal Investigator となり、今では全国各地の大学で 150 名を超える栄友会員が教授・准教授として栄養学の世界でリーダーシップを発揮しています。

入学式や歓迎会は中止となりましたが、新年度の活動は、5 月の会報の発行、7 月の総会と学術講演会などを予定しています。新型コロナウイルス感染症(COVID-19)拡大の収束が見られない場合は、それらの延期や縮小など予定の変更を余儀なくされるかもしれません。このような日々でも、各地のメンバーからは新型コロナウイルス対策に連日奮闘している様子が伝わってきています。今春 52 名の新会員（57 期）を迎え、会員総数は 3,000 名に達したところです。“私たちの栄友会ネットワーク”は元気に動いています。今後とも、徳島大学同窓会連合会の一員としてよろしく願いいたします。

今期も若い世代の各種受賞者を、把握できた範囲ですが紹介させていただきます。

●第 35 回 日本臨床栄養代謝学会学術集会 『Young Investigator Award』： 瀬部真由 博士後期課程 3 年（48 期）

●第 23 回 日本病態栄養学会学術集会 『Young Investigator Award』： 瀬部真由 博士後期課程 3 年（48 期）

●第 52 回日本栄養・食糧学会 中国・四国支部大会 『学生奨励賞』を、2 名が受賞：  
亀井優輝 博士前期課程 2 年（51 期）、森優樹 博士前期課程 1 年（52 期）

●令和元年度『若手研究者学長表彰』 金子一郎 徳島大学応用栄養学分野助教(35 期)

●2019 医学部ベストティチャー・オブ・ザ・イヤー 金子一郎（35 期）

●令和元年度 医学部優秀教育賞 栄養学優秀教育賞 増田真志（39 期）

●平成 31 年度 康楽賞を 3 名が受賞：

下畑隆明（39 期）、木戸純子（48 期）、天宅あや（50 期）、木村玲奈（53 期）

●令和元年度 児玉賞 木村玲奈（53 期）

\* 2020 年 3 月実施の第 34 回管理栄養士国家試験では、新卒の受験者 48 名（53 期）全員合格。



スライド 1

ホームカミングデー栄友会特別講演会、2019 年 11 月 2 日（土曜日）於；藤井節郎記念医科学センター



写真 1 栄養学科棟エントランスにて、左から 4 人目が中村丁次教授（2019/11/2）



写真 2 鳴り物も備えた栄養学連（70 周年記念祝賀会）（2019/11/3）

栄友会ホームページ <https://eiyo.jimdo.com/>